



甲山城



阿曾良泊から甲山城（中央）、丸山城（左奥）を望む

所在地：石川県鳳珠郡穴水町甲

立地：丘陵先端、標高25m

城主：平楽右衛門尉、轡田肥後・平子和泉・唐人式部（上杉謙信家臣）

時期：戦国

見学時間（参考）：約30分

船溜りに適した阿曾良泊入口の丘陵に位置し、近くの丸山城とともに通称「大口の瀬戸」と呼ばれる海路の要衝を押さえていた。天正6年（1578）穴水城主長沢筑前から中居村弁慶宛書状は「船手之者共」と記し、越後勢の水軍基地となっていたことが知られる。



登城口（南西方から）

故墟考は平楽右衛門尉が居城したと伝えるが近年は後述の平子氏の誤伝とされる。長家家譜には天正4年（1576）上杉謙信が能登に進攻し、甲山城に轡田肥後、平子和泉、唐人式部を置いたとしている。天正7年8月頃七尾城の畠山旧臣の温井景隆、三宅長盛は上杉方の七尾城代鯨坂長実をそそのかし、甲山城の轡田肥後らを討たせる。

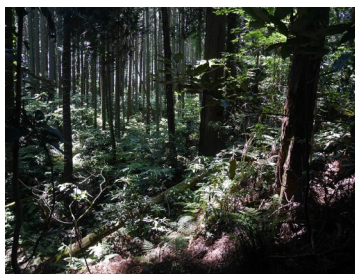
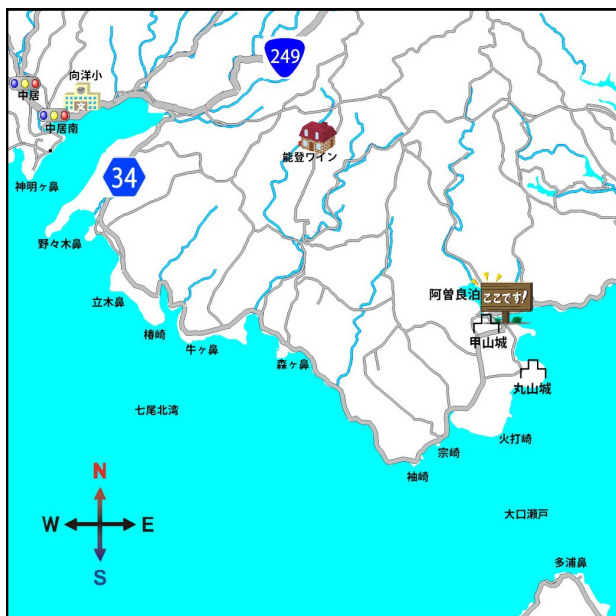


阿曾良泊に通じる虎口

「城ヶ高」と呼ばれる主郭は阿曾良泊と甲港をつなぐ水路の最も狭くなる所を見下ろしている。主郭の尾根側に土塁と内横堀を巡らせ、主郭を取り巻く曲輪にも土塁と外横堀が巡る。現在、外横堀の一部は道路と耕地造成で失われている。阿曾良泊入口の山麓に「木戸前」と呼ばれる場所があり虎口につながっている。虎口は複数回屈曲し檜台を伴う織豊系城郭の特徴を備え、天正9年前田利家の能登入国直後に阿曾良泊の重要性を認め部分的に改修して使用したと推定される。



主郭（城ヶ高）から甲港を望む



内横堀



外横堀（墓地裏あたり）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>